

実施した重要な取組

- 平成30年度 県：危機管理型水位計を設置（10河川：熱海市4河川、伊東市6河川）
- 平成31年度 県：伊東大川の洪水浸水想定区域を指定
- 令和元年度 県：土砂災害警戒区域の指定完了（警戒区域指定数：熱海市301、伊東市368）
- 令和元年度 熱海市：防災ガイドブック（ハザードマップ）作成・配布
- 令和2年度 伊東市：総合防災ガイドブック（ハザードマップ）作成・配布
- 令和2年度 県：高潮浸水想定区域図の公表
- 令和2年度 県：奥野ダム事前放流の実施に向け、伊東大川水系治水協定を締結（R3より事前放流運用）

毎年の主な取組

- 防災教育を促進（出前講座等の実施）
- 関係機関が連携した水防訓練を実施（毎年6月の土砂災害・全国防災訓練、各水防訓練等）
- ホットラインの構築・運用、SIPOSの活用、災害情報の発表基準等の見直し
- 河川合同パトロールを実施（静岡県、熱海市、伊東市）
- 河川整備（改良・維持）を実施（伊東大川、烏川、糸川、逢初川など）

要配慮者利用施設に関する主な取組（施設数：熱海市35、伊東市26） R3.9.30現在

- 平成29年度 避難確保計画の作成が義務化（水防法改正）
- 令和3年度 訓練実施及び報告が義務化（水防法等改正）
⇒避難確保計画の作成支援・防災対策マニュアルの作成・防災講習会・防災情報の提供を実施